

2017 年度ドコモ市民活動団体助成事業 申請書 【法人用】

— 子どもの健全な育成を支援する活動 —

投函日を記載してください

NPO 法人 モバイル・コミュニケーション・ファンド理事長殿

申請日：2017年 月 日

団体名：NPO法人 MCF子ども協会

代表者印を押印してください

(ふりがな)：じょせい いちろう

代表者名：助成 一郎

印 役 職 名：理事長

申請団体	団体所在地	(〒100-6150) <input checked="" type="checkbox"/> 団体専用 <input type="checkbox"/> 個人宅 <input type="checkbox"/> 勤務先等 東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー41F ※個人宅の場合は、「●●様方」も記載してください。
	電話番号	03-3509-7651
	URL	http://www.mcfund.or.jp/
連絡窓口	住所	(〒100-6150) <input checked="" type="checkbox"/> 団体専用 <input type="checkbox"/> 個人宅 <input type="checkbox"/> 勤務先等 東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー41F
	(ふりがな) 連絡責任者	とうきょう たろう 東京 太郎
	電話番号	(固定) 03-3509-7651 【連絡可能時間帯 (日中)】 10:00~18:00
		(携帯) 090-0000-0000 【連絡可能時間帯 (日中)】 12:00~13:00
	E-mail	info@mcfund.or.jp
選考結果通知等の連絡は、基本的に記載の連絡窓口に対し、郵送・電話・メール等にて実施します。		

～以降 申請内容部分～

(※申請内容部分は必要事項を簡潔にご記載いただき、全体で7ページ程度に収めてください。)

1. 団体の概要

団体種別	<input checked="" type="checkbox"/> NPO 法人 <input type="checkbox"/> NPO 法人以外の法人格()					
NPO 法人申請にあたっての分野	第 2 号 社会教育の推進を図る活動、第 13 号 子どもの健全育成を図る活動 他					
設立趣旨	20 世紀後半大きく発展した情報通信技術・移動通信技術のますますの発展のため、技術の進歩に貢献する人材の支援、未来を担う子ども・環境への貢献、及び国際交流の推進や福祉の充実等、幅広く社会全体の利益に寄与することを目的に設立					
設立時期	西暦 2000 年 9 月		(法人格取得時期: 2002 年 7 月)			
会員数	正会員	個人	30 人	その他 会員	個人	65 人
		企業・団体	10 件		企業・団体	40 件
団体職員数	常勤	2 人 (有給 1 人)		非常勤	5 人 (有給 1 人)	
ボランティア (注)	50 人 (無償)		20 人 (有償)	登録人数	100 人	

直近 1 年間の参加人数を記載してください

団体でボランティアの登録をしている場合は人数を記載してください

2. 団体の財政状況

(1) 2016 年度決算見込

経常収益	1,500,000 円	経常支出	1,500,000 円
------	-------------	------	-------------

※ 申請書記載日時点の見込額を記載願います。

(2) 上記 2016 年度の経常収益内訳

※会費、寄付、受託事業等、収入それぞれの金額と比率を記載してください。

※受託事業、助成金・補助金、自主事業は主要なものを 2 つまで記載してください。

会費	150,000 円	10%		
寄付	300,000 円	20%		
受託事業	600,000 円	40%	① 委託元: 東京都〇〇区〇〇担当 事業内容: 企業向け社会貢献講座の開講	500,000 円
			② 委託元: 東京都〇〇区〇〇担当 事業内容: 子育て支援に関する講演の実施	100,000 円
助成金 補助金	300,000 円	20%	① 拠出元: 財団法人 〇〇〇 事業内容: コミュニティカフェ運営	200,000 円
			② 拠出元: 東京都〇〇区〇〇担当 事業内容: 託児関連事業の運営	100,000 円
自主事業	150,000 円	10%	① 対象者: コミュニティカフェのお客様 事業内容: コミュニティカフェ事業	50,000 円
			② 対象者: ファミリーコンサート参加の親子 事業内容: ファミリーコンサート	100,000 円
その他	円	%		
合計	1,500,000 円	100%		

(3) 2017 年度予算

経常収益	3,000,000 円	経常支出	3,000,000 円
------	-------------	------	-------------

※ 申請書記載日時点の概算額を記載願います。

3. 団体のネットワーク

(1) 貴団体のネットワークについてチェックしてください。

- 地元の NPO 支援センター、自治体、公的機関などの支援を得ている
- NPO 協議会などの地域ネットワークに参加している
- 活動に関する専門知識を持つ有識者とのネットワークがある

※有識者とのネットワークがあると答えた団体は以下欄に具体的に記載してください。

(企業・大学等所属・役職・氏名など) ●●大学●●学部○○○○教授に社会教育に関するアドバイスを受けている。 ●●病院○○○○院長に小児医療に関するアドバイスを受けている。	※有識者とのネットワークについて、今回の申請内容に直接関係がある場合は、「6. 活動スケジュール等」の「実施体制」において詳細を記載してください。
--	---

(2) 情報交流の状況についてお伺いします。

- ホームページ・ブログを開設している
- その他 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)等による情報発信を行っている
 - facebook twitter その他 (サービス名:)

4. 活動テーマの分類

最も該当する活動テーマを 1 つ選び、チェックをつけてください。

- ①不登校・ひきこもりの子どもや保護者に対する精神的・物理的な支援、復学・社会的自立支援活動 (フリースクール、カウンセリング 等)
- ②児童虐待やドメスティック・バイオレンス (DV)、性暴力などの被害児童・生徒や社会的養護を必要とする子どもの支援、及び虐待防止啓発活動
- ③非行や犯罪から子どもを守り、立ち直りを支援する活動
- ④子どもの居場所づくり (安心・安全な居場所の提供、子どもの不安や悩みに対する相談活動 等)
- ⑤障がい (身体障がい、発達障がい 等) のある子どもや難病の子どもの支援活動 (療育活動、保護者のピアサポート活動 等)
- ⑥マイノリティ (外国にルーツを持つ、LGBT 等) の子どもを支援する活動
- ⑦地震・台風などの自然災害で被災した子どもたちへの支援活動
- ⑧上記①～⑦以外で「子どもの健全な育成」を目的とした活動

上記で 1 つ選択したものの以外で関連する活動テーマがあればその番号を記載してください。
(②)

※⑧を選択した場合、下記欄に具体的活動テーマを記載してください。

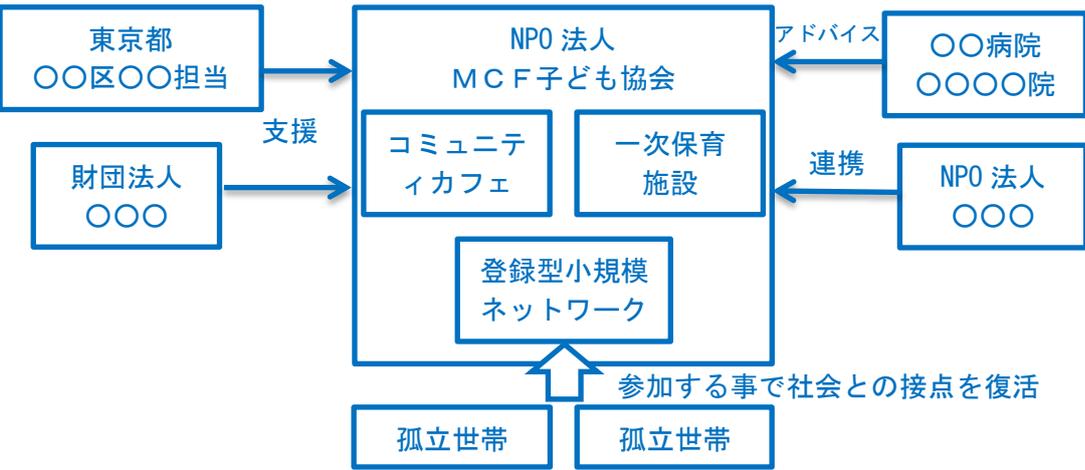
--

5. この助成金で達成したいこと

	活動タイトル(20~30文字以内)
	登録型小規模ネットワークを活用した、地域で行う子育て推進 (例: 28文字)
活動タイトル及び活動概要	活動概要(150~200字程度)
	スマホやSNSを活用し、孤立状態にある子育て世代の地域内ネットワークを構築する。第一段階としてSNSを利用した気軽に相談できる環境を構築する。環境の構築にあたっては、当団体が運営しているコミュニティカフェを拠点とした登録型ネットワークとする事で、顔の見える関係を維持していく。目標としては当団体が仲介に入り、安心・安全を確保しながら子育てを相互に見守れる、託児・育児を地域内の住民の協力で行える関係を構築したい。(例: 205文字)
この助成金で解決したい子どもを取り巻く現状・課題	<p>昨今、社会では幼い子どもたちの痛ましい事故や事件などを耳にすることが非常に多くなっている。これらの要因の一つとして“子育て世代の孤立”という問題が存在している。当地域の行政により実施された子育て世帯を対象としたアンケートでは、「孤独を感じる」とした世帯が70%という結果も出ており、当地域においても急務の課題となっている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 200px; width: fit-content;"> <p>※活動地域における現状・課題を具体的に記載してください。</p> </div>
具体的な活動内容と目標設定	<p>① SNSを利用した登録型小規模ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNSによる専用グループページの構築 【構築期間: ○月まで】、【グループアクティブユーザー数: ○名以上】 ・ 利用者申込受付及び利用促進活動 【コミュニティカフェ登録者○○名(2017.3現在)の20%増加】 ・ 小規模ネットワーク内で実施する各種企画の策定及び実施 【企画策定数: ○○件、実施件数△△件】 <p>② 登録者同士の相互託児実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録者同士の相互託児実施に向けた講座の開催 【講座回数: 8回、参加者目標数○○○名】 ・ 登録者同士の相互託児 【相互託児の実施件数: 月○件以上(7月~)】
支援対象の子どもへのアプローチ方法	<p>① 団体運営コミュニティカフェ利用者への参加促進と口コミ依頼</p> <p>② 区広報誌、タウン誌への折り込み、保育施設へのポスター掲載依頼</p> <p>③ 団体ホームページ等による相互託児の案内と申し込みフォームの作成・展開</p> <p>④ ○○団体等への支援要請と連携強化</p>

6. 活動スケジュール等

	年・月	活動計画
スケジュール	2017. 9～〈随時〉	【SNSを利用した登録型小規模ネットワークの構築】 ①事務局ミーティング ◆場所：団体事務局 小規模ネットワークの構築にあたる運営手法、マニュアルの作成及び情報共有等
	2017. 9 中旬 ～10 月上旬	②SNSによる専用グループページの構築 ◆場所：団体事務局 SNS内のグループページの作成（プログラミング作業）
	2017. 10～	③利用者申込受付開始 ◆場所：当団体コミュニティカフェ●● コミュニティカフェ利用者への参加促進及び登録作業
	2017. 10	④利用促進活動の実施 ◆媒体：区広報誌、タウン誌等への折り込み 小規模ネットワーク参加を促すポスター・チラシ発行（チラシは2,000部配布予定）
	2017. 11～〈随時〉	⑤小規模ネットワーク内で実施する各種企画の策定及び実施 ◆場所：当団体コミュニティカフェ●● 登録者同士の交流を促すため、お茶会等、各種企画の実施 将来的に反響のよい企画を定例化し、孤立化脱却の糸口としたい。
2017. 9 ～ 2018. 8	2017. 10～2018. 1 〈随時〉	【登録者同士の相互託児実施におけるスケジュール】 ⑥事務局ミーティング ◆場所：団体事務局 相互託児実施にむけた各種マニュアルの作成及び情報共有等
	2018. 2～5 〈8回〉	⑦登録者同士の相互託児実施に向けた講座の実施 ◆場所：当団体管理の一時保育施設もしくは市施設 登録者を対象に託児講座を実施。実施にあたって小児科医である〇〇院長にアドバイスをいただく。
	2018. 7 より以降 継続	⑧登録者同士の相互託児実施開始 ◆場所：当団体管理の一時保育施設内にて 登録者に参加してもらう相互育児を実施。託児依頼者は1回500円（予定）で依頼し、託児実施者には当施設の保育士に付いて補助的な内容から、段階的に関わって行っていただく。

<p>情報発信計画</p>	<p>① 団体ホームページ等による相互託児の案内と申し込みフォームの作成・展開 ② 相互託児開始後の模様等について、週1回のFacebookにおける情報発信</p>
<p>実施体制</p>	 <p>①小児医療分野の専門的な知見について〇〇病院〇〇〇〇院長からアドバイスを受ける。 ②当地域で託児活動を展開しているNPO法人〇〇〇と連携し、事業を進める。 ③東京都〇〇区〇〇担当から一時保育施設、また、財団法人〇〇〇からコミュニティカフェでの支援を受ける。</p>
<p>期待される成果・効果</p>	<p>当団体の運営するコミュニティカフェにおいてのみの登録制の小規模ネットワークとすることで、常に顔の見える関係を維持し、将来的に想定している『登録者同士の相互託児』においても安心な環境を提供できるものとする。 このネットワークが地域住民同士で子育てを行うという意識の醸成・関係性の構築に繋がり、痛ましい事故や事件の発生を抑止に寄与できるものとする。</p>
<p>助成期間終了後の活動の継続性・将来的な広がり</p>	<p>(活動の継続性) 費用面においては基本的に既存施設の活用によって実施していくため、ランニングコストとしては問題なく継続していくことは十分に可能である。また前述のアンケート結果も示すとおり、当地域において孤立社会に対する課題意識は高い現状にあるため、行政側からの支援も望めると考える。</p> <p>(将来的な広がり) 本活動を先行事例として、各地域において同様の試みを展開していく構想を持っている。各地域の登録型小規模ネットワークを連携することによって、県の中に市があるような構造で拡張していくことが可能であり、サービスについても連携できるようになっていこうと考える。現時点での懸念点については、そうやって拡張されていった際、顔の見えない関係に回帰してしまうのではないかとという点であるが、これについては変化を見極めつつ実施していくつもりである。</p> <p>(その他) 子どもに対する将来的な効果として、孤立からの脱却が与える効果は非常に高いものであると考える。孤立は親だけの問題ではなく、子どもにおいても幼少期の遊び友達との出会いの減少や、コミュニケーションの不足を招くものである。また悲しいことではあるが、育児放棄や虐待といった問題の要因の一つとして、“孤立”があることは確かであり、そういったものから子どもたちを救う一助となると考える。この取り組みが広がることで、より多くの子どもたちも救っていただけるものとする。昔ながらのご近所づきあいや地域コミュニティの復活＝孤立社会からの脱却は子どもたちの健全な育成にかかせないものであると確信している。</p>
<p>類似の活動実績 (直近5年間であれば記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2014年10月～現在 コミュニティカフェ事業(財団法人〇〇〇助成事業) ・2015年4月～現在 一時保育施設運営(東京都〇〇区〇〇担当助成事業) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※実施時期および活動内容について記載してください。</p> </div>

7. 申請助成金

(1) 申請助成金額 500,000 円

(2) 予算書
収入

区 分	金 額 (円)	内 訳
① 申請助成金	500,000	
② 自己資金 (※)	200,000	
③ その他の資金 (※)	50,000	相互託児依頼時の依頼料 (500 円 × 100 名)
合 計	750,000	

(※) 申請施策の実施にあたって、自己資金等を支出する場合は必ず記載してください

支出

区 分	金 額 (円)		内 訳
	助成金 (①)	自己資金等 (②+③)	
① 謝礼金	50,000		相互託児講座ボランティアへの謝礼 (5,000 円 × 10 名分)
② 旅費		20,000	相互託児実施時の登録者への移動費用 (200 円 × 100 回分)
③ 物品購入費	300,000	100,000	ソフトウェア購入 (100,000 円) プログラミング費用 (300,000 円)
④ 賃貸料		50,000	登録者同士の相互託児実施に向けた講座 会場費 (6,250 円 × 8 回)
⑤ 資料購入費		30,000	チラシ作成資料及び講座用資料
⑥ 印刷料	100,000	50,000	ポスター・チラシの印刷費用
⑦ 通信運搬費	20,000		チラシの配送及び登録型小規模ネットワ ーク会報等の郵送費 (250 円 × 80 通)
⑧ その他	30,000		保険料 (300 円 × 100 名)
合 計	500,000	250,000	

注) 募集要項の助成対象の経費について記載してください。以下の支出は助成対象外とします。

- ・ 助成決定金額の 50% を超える人件費
- ・ 通常の団体運営に関する経費 (事務所家賃、光熱水費、定期刊行物発行経費等)
- ・ 1 回のイベント等で終了する活動経費
- ・ 助成対象事業から得られる収入 (講師謝礼など) の他事業への充当
- ・ 当該団体の関連団体 (団体構成員が役員等を兼務あるいは資本関係のある団体等) への委託
- ・ 自団体が支払い先となるような支出、その他 MCF が不適当と判断した経費

～申請内容部分 終わり～

「ドコモ市民活動団体助成事業」アンケート

今後の「ドコモ市民活動団体助成事業」の参考とさせていただきますので、アンケートにご協力をお願いいたします。なお、ご回答の内容は、選考に一切影響いたしません。

1. 「ドコモ市民活動団体助成事業」をどのように知りましたか？

該当する項目にチェックをお願いします。

- チラシ（場所： ）
- インターネット（…MCF あるいはドコモの HP より / …他のサイトより）
- 行政組織からの紹介（組織名： ）
- NPO 支援センターや社会福祉協議会からの紹介（団体名： ）
- 各種助成金セミナー（セミナー名： ）
- 過去の「ドコモ市民活動団体助成事業」対象団体からの紹介（団体名： ）
- メールマガジンや会報誌を読んで（発行元： ）
- 雑誌から（媒体名： ）
- その他（ ）

2. ドコモ市民活動団体助成事業への応募について **（入力必須）**

- ・ ドコモ市民活動団体助成事業への応募は何回目になりますか？
 初めて 2 回目 3 回目 4 回目 5 回目以上
- ・ 過去にドコモ市民活動団体助成事業の対象団体に選出されたことはありますか？
 なし 1 回 2 回 3 回以上

※ドコモ市民活動団体助成事業の対象団体に選出された団体は下記欄に、助成対象年度、助成金額、助成時の活動タイトルを記載してください。

3. 「ドコモ市民活動団体助成事業」についてご意見やご希望をお聞かせください。

4. 申請書についてご意見やご希望をお聞かせください。

ご協力、ありがとうございました。

また、当団体のホームページにて、過去の助成団体の活動テーマ等を掲載しておりますので、ご覧ください。
(URL はコチラ <http://www.mcfund.or.jp/>)